

8 代表者による全体の評価及び見直し

作成2016年6月13日
代表者:久慈 直太郎

【活動期間:2015年4月1日 ~2016年3月31日】

1. 全体評価のための個別評価(環境管理責任者による評価も可)

項目	評価
環境負荷自己チェック	・清水工場:生産数↑、電気↓、都市ガス↓、燃料↓、上水↓ ・浜松工場:生産数↑、電気↑、都市ガス↑、燃料↑、上水↑ ・浜松工場:太陽光発電能力(100KWH)による売電は実質的なCO2排出量削減に貢献している。
環境取組自己チェック (前年度との進捗比較も確認する)	・2014年度258点⇒2015年度276点(浜松工場:2015年度:249点) ・従業員への更なる環境に対する意識向上が必要。
環境目標達成状況	・達成:20件 ほぼ達成:12件 未達成:15件 ・未達成項目への月単位でのフォローアップが足りない。 ・清水:生産数量原単位、浜松:売上高原単位ベースで評価
環境活動計画の達成状況	・問題なし
環境事故・トラブルの有無	
該当環境関連法規等の遵守 状況および制定・改廃状況	・環境関連法規の遵守は問題なし ・法規制の最新版のチェックを実施
訴訟・行政指導等の有無	・過去3年間指導なし
教育・訓練の実施状況	・作業手順書を元に訓練の実施を行っていく。
外部とのコミュニケーションの状況	・異臭苦情発生(清水)
規定類、手順書等の関連文書 および関連記録の制定改廃 の状況	・環境活動項目が盛り沢山で、未実施のものを見直しが必要

2. 見直しおよび変更指示

項目	評価	変更要否
環境方針	2016年6月に改訂をおこなった。	変更 <input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
環境目標	清水・浜松工場のライン構成の追加・削減に伴い、 29年度から基準値の見直しを検討する。	変更 <input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
環境活動計画	業務量のバランスを見て、項目数の絞込みの検討も考慮する。 法規制改訂を考慮しての活動も取り入れる	変更 <input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
環境経営マニュアル(システム)	変更なし	変更 <input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否
その他	内部監査による指摘 B判定 12件 C判定 3件 是正済	変更 <input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否

3. 全体の評価(今年度の評価と次年度への指示を記載する)

今期は、第2工場の銅めっきラインを撤去し、硬質クロム3rdラインを増設しました。その為、組織も大幅な変更がなされ、人事異動も頻繁に行いました。それに伴い、清水工場ではメンバー変更が行われても、各部署の環境活動が損なわれることなく、引継ぎを実施していくことが重要である。また、浜松工場は、清水工場と同様の環境活動を行ってほしい。さらに独自の環境目標を達成する為の取り組み・研究を行っていく事が必要である。